

5-8

主題

自主的にグループ活動が立ち上がった

生きがいのある生活

副題

生活の充実感を求めて

仲間作り

研究期間

11ヶ月

事業所

養護老人ホーム 高砂園

発表者：神村 美沙子（かみむら みさこ）

アドバイザー：

共同研究者：深井 泉美・白井 まゆみ・倉持 孝美

電 話

03-3607-4060

メール

info@jinseisha.jp

FAX

03-3607-4654

URL

http://www.jinseisha.jp

今回発表の  
事業所や  
サービスの  
紹介

養護老人ホーム 家庭環境、生計などから居宅生活が困難な高齢者に生活の場を提供する施設

定員 140 名 入園者平均年齢 81.3 歳

男性 63 名 女性 77 名

介護認定者 要支援 3 名 要介護 9 名

## 《研究前の状況と課題》

高砂園では入園者に対する自立への援助を  
処遇目標として取り組んでいます。

日常生活が自立している方には、茶道、華道  
や歩け歩け会などのグループ活動への参加  
を促しています。

その中で仲間づくりや健康保持を求めて入  
園者が自ら新たに、グループ活動を立ち上げ  
る動きが見られました。更にやりがいや生き  
がいがある生活を送れるように他の施設と  
交流の場を設けるなど社会性のある自立へ  
の支援がないか模索しました。

## 《目標と期待する成果》

日常生活が自立した方でも、

- ① 仲間がいなく、孤立した方
- ② 園内や居室のこもり、行動範囲が狭い方
- ③ 同室者とのトラブルから表情が沈み、生  
き生きした姿が見られない方

などにグループ活動への参加とその成果を  
発表する機会などを通じて、生きることの楽  
しさや希望を持たせたい。

### 《経 過》

自主的に立ち上げたグループ活動の経過。

- ① ダンスクラブ…入園者の方から活動したいという申し出があり講師を自分たちで探してくる。
- ② 太極拳クラブ…太極拳を習っている方がおり、その仲間の声掛けにより活動し始める。今では、講師の方にストレッチなど指導を受けている。
- ③ 合唱団…誕生会での発表の為、職員の声掛けに集まったが、この時だけで終わるのがもったいない、グループ活動にしてはどうか、と仲間同士から声上がり、活動し始める。

活動の成果の発表の場を設けた。

ケアセンターでの交流会…社会性を持ち、自分たちだけの自己満足、趣味のみで終わらせない為に、ケアセンターでの発表の場を設けた。

### 《結 果》

入園者同士の仲間意識が高まり、外部との交流から周りから認められたり、やりがいが見つけられた、練習したことを人前で発表する充実感が感じられた、などの感想を得ることが出来た。又、園の外へ出る事で、自然と身なり、身だしなみを整える姿があった。ダンス、太極拳では、参加者が同様の顔ぶれであったが、合唱では普段他者との交流があまりない方も自主的に参加する意欲があり、笑顔が多く、生き生きとした表情も多く見られるようになった。

### 《今後の取り組み》

定期的な開催の為、日頃から仲間意識を高め、お互いに協力しあう体制を整えていきたい。又、今後も他の在宅サービスセンターや更に法人内のみではなく、地域での発表の場にも活動の場を広げて行きたいと思っています。

### 《提案と発信》

現在養護老人ホームにおいて介護を要する利用者が多くなっている中、日常生活が自立している者にとって、健康保持と生きがいが大切である。  
その点にグループ活動に意義がある。更に社会性と広がりをもって、グループ活動が求められており、今回この視点から実践した事例を発表するものであります。

【メモ欄】 追加資料 無